

教育シンポジウム、第2部パネルディスカッション

現場の先生、保護者の実状や思いが語られる!



発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

6月29日(土)に教育会館ミューズホールで開催された「教育シンポジウム」(香川県労連主催 香川高教組・香教組・香川私教連共催)では、小畑さん(全労連議長)の講演の後、第2部として「パネルディスカッション」を行いました。パネラーとして香教組・高教組・私教連、そして保護者の代表者が参加しました。また、小畑さんが助言者として参加しました。

パネラーの発言

小学校の現場から

(佐野さん)

私は小学校で先生をしています。先生という仕事が大好きで、小学校6年のときから先生になりたくてなりたくてやってきた人間です。でも、今、先生達の現場はすごく大変で忙しくて「子ども達のために何ができる」と自問自答しながら過ごしている毎日です。

給食はワンちゃんみたいにくく食べるんです。なぜかという、子どものテストや宿題の丸付けをしなければならぬからです。作文やノートは提出があると全部目を通してあります。私は、図工の専科をしていますので絵のこういう所を直したいらいいよ、もったいい絵になるよと昼



パネルディスカッションの様子

休みに向けての用意をするという状況です。昼休み、子ども達が寄ってきます。遊ぼう、何しようと言っています。本日は、みんなと一緒に遊んだり、おしゃべりしたりしたいですが、会議とかのためにエネルギーを温存しておくか、と倒れてしまいます。家に帰って、疲れて布団に入って寝るだけみたいになるので、1日つつやっていくのが今の仕事の大変さです。

私は特別な支援を必要とする子ども達をみています。そのためには専門的な知識が必要になります。家に帰って授業研究を始めます。また、その日の子ども達の様子に気がなっているいろいろなことを考えていると11時になっています。私はまた、組合の書記長をしています。夜、子ども達のことを考えた後、送られてきている

メールをみながら、日本でこんなことが起こっているんだ。全国の先生も頑張っているから私も頑張ろう。そういうことをエネルギーにしながら、今ここに座っている形になります。私の願いは、もう一回生まれたいかと思われたときに、やはり先生をやりたいと言えよう。子どもが授業楽しかったよと褒めてくれる、保護者が褒めてくれるとうれしくて、明日も頑張ろうと思います。教師の仕事が虹色と言えようかな仕事にしたいです。そのためには、組合がすごく大事だと思っています。

メールをみながら、日本でこんなことが起こっているんだ。全国の先生も頑張っているから私も頑張ろう。そういうことをエネルギーにしながら、今ここに座っている形になります。私の願いは、もう一回生まれたいかと思われたときに、やはり先生をやりたいと言えよう。子どもが授業楽しかったよと褒めてくれる、保護者が褒めてくれるとうれしくて、明日も頑張ろうと思います。教師の仕事が虹色と言えようかな仕事にしたいです。そのためには、組合がすごく大事だと思っています。

高校の現場から

(樫棒さん)

私は昨年度、今の高校に異動しました。教科の教員が3人で、うち2人が育休取得者の代替講師でした。育休の先生は今年度復帰されたのですが、2人とも時短勤務を取らなければなりません。当

初は、時間講師を呼んでコマ数を減らす予定でしたが、見つかりませんでした。半日の時短勤務を希望していた先生は、長めのほぼフルに近い勤務に戻さざるを得なくなりました。

また、昨年度6人の先生に新たな命が生まれたのですが、産休に入る前日まで代替が見つからないこともありました。若い先生が育休を取るのには当然の権利です。しかし、実際に取られると現場は困るという状況があります。それは、圧倒的に人が足りないこと、採用のバランスが悪く、年代の構成がすごく悪いことだと思えます。先生方皆さんはそれぞれ事情があるので、みんながゆとりを持って自分の権利を使えるように人を増やして欲しいと思っています。

また、昨年度6人の先生に新たな命が生まれたのですが、産休に入る前日まで代替が見つからないこともありました。若い先生が育休を取るのには当然の権利です。しかし、実際に取られると現場は困るという状況があります。それは、圧倒的に人が足りないこと、採用のバランスが悪く、年代の構成がすごく悪いことだと思えます。先生方皆さんはそれぞれ事情があるので、みんながゆとりを持って自分の権利を使えるように人を増やして欲しいと思っています。



(吉原さん)

私からは3点お話しします。1つ目は観点別評価についてです。主体性を評価しなさいとなっています。でも、生徒に「これをもって主体性を評価します」と伝えた瞬間にも、主體的ではなくります。提出物を集めるといっても、生徒は提出物に追われて苦しもうで、答えを丸写ししたものを提出してきます。これは果たして主体的なのか、いやそうではないかと思いつつ、現場では複雑な成績処理をしながら観点別評価をしています。

8月に思うこと

8月もう終わります。本当に暑い夏でした。パリオリンピックで日本は海外開催では最多となる金メダル20個を獲得しました。テレビの放映を見て熱くなった人もいます。さて、もうかなり前の話ですが、夏休み中に学級登校日を設けなさいという時期がありました。私は8月6日を登校日にしました。教員として忘れてはならない日、そして語らなければならない日だったからです。8月6日、9日、15日はそれぞれに意味があります。▼1945年のあの日からもう80年が経とうとしています。今、ロシアによるウクライナ侵略の長期化、イスラエル軍によるパレスチナへの報復攻撃によるガザ地区の人道危機により、罪もない多くの人の命や日常生活が奪われています。▼「戦争か平和

か」と聞かれればもちろん、平和と答えるでしょう。これまで、平和憲法の下で大軍拡に進まなかったからこそ、今の日本があります。しかし、今の政府は軍事費増額、敵基地攻撃能力の保有など大軍拡を進めようとしています。▼被爆地広島、長崎の市長が核兵器廃絶を求め、核兵器禁止条約の締結を政府に要求しても核の傘論に固執する広島選出の岸田首相はイエスと言いません。▼「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」(日本国憲法前文)。憲法に基づく平和外交を進めることこそ、日本政府の責務ではないでしょうか。



8月もう終わります。本当に暑い夏でした。パリオリンピックで日本は海外開催では最多となる金メダル20個を獲得しました。テレビの放映を見て熱くなった人もいます。さて、もうかなり前の話ですが、夏休み中に学級登校日を設けなさいという時期がありました。私は8月6日を登校日にしました。教員として忘れてはならない日、そして語らなければならない日だったからです。8月6日、9日、15日はそれぞれに意味があります。▼1945年のあの日からもう80年が経とうとしています。今、ロシアによるウクライナ侵略の長期化、イスラエル軍によるパレスチナへの報復攻撃によるガザ地区の人道危機により、罪もない多くの人の命や日常生活が奪われています。▼「戦争か平和



(安富さん) 公立学校で残業代とか職務給がクローズアップになっていますが、私学の現状についてお話ししたいと思います。

私学の現場から

2つ目は時間外勤務と部活動です。部活動顧問のなり手がいない、部活動によって時間外勤務が増大しているという苦しい状況があります。1つの部をワンオペアで回している人、3つの部を掛け持ちしている人もいます。部活動の主顧問は時間も体力もある若手に任せやすいです。若手教員は家庭や子育てに十分な時間を割けなかったり、休みがないから結婚や出産ができなかったりします。また、目上の人に頼みづらいので若手がすべて背負ってしまうということがあります。若手教員の多忙化につながっている一面があります。

昨年秋に県内の私学で残業代の未払い問題で労働基準監督署から指導を受けたことが報道されました。この学校は、進学校で毎週土曜日に全員の先生方が勤務しています。それだけで週44時間勤務になっていきます。進学校なので44時間ではすまなくて青天井の勤務時間になっているということ、残業代が支払われたということは何っています。

香川県の私学は現在、公立と同じように4%の教職調整額のみ支給されています。私学は、公立と違って労働基準法が適用されるので残業代を申請することはできませんが、財政的に余裕のある学校であるかないかで千差万別です。原則的には大変厳しい状況に置かれています。

私立高校は36協定を結ぶことができます。労使の間で残業時間も取引できるのですが36協定を結んでいる学校は県内のすべてではありません。10%以上の教職調整額、あるいは残業代が入るといことになるかと本俸の方を下げるということになる恐れもあります。また、部活動をしたという先生が活動時間を削られるという悩ましい問題が生じてきます。

保護者から

学校では短時間で習うことが増え、宿題が多くなり、子ども達も負担が大きくなって遊ぶ時間が減っているという気がします。中学校の部活動では試合に出ないのに応援に行かなければなりません。送迎するのは保護者です。休みの日の予定が立てられない、2日間の休みが潰れてしまうことがあります。学校では顧問の先生同士でどんな話し合いをしているのか、保護者の間では疑問が出てくることもあります。

小畑さんから

このままでは学校が持たないという状況については、現場の方が一番実態として捉えているので、このパネルディスカッションの中でしっかりと内容を聞いてもらえたいと思います。

そして、その状況を変えてためには、制度政策を変えていくということが大本ですが、職場で困っていること、悩んでいること、おかしいと思っていること、変えたいと思っていることをどうしていけばいいのだろうか?というところ、くみができるのが教職員組合や労働組合だと思います。

保護者代表の方から今の保護者の要望について出してもらいまし

た。そういう要望や要求を1つの学校だったら保護者会やそれより小さなグループで、モンスターペアレントというのではなく、よりよい学校にしていくという観点で、みんなが意見を言えるような場をどうやって作っていくかということが必要です。そのことを教職員組合も受け取るし、地域の様々な運動の中で、それを具体化できるように場が作られるということが大事だと思いました。

司会者から

教員から見れば1対35、だけども生徒から見れば1対1だということとは教員としての心構えとしての基本の一つです。一人一人を丁寧に見ていく、そしてしっかりと生徒理解をしていく。それが人間関係を含めて理解して、寄り添っていくというのが教育の基本ですが、今の学校現場の状況がそういうゆとりを奪っているところ、そこが子ども達の今の生きづらさにつながっていると思います。

フロアーからの報告

(児童保育について) 今年4月から高松市の児童保育施設の運営が民間委託されました。民間委託前は支援員は高松市の会計年度職員でしたが、会社の社員にという立場になってしまっているので、指導員の立場を守るだけでなく、子ども達や保護者が利用しやすい児童保育にするために市と協議や交渉を重ねてきました。児童指導員が100人以上いる中で4名の組合員で大変な思いをしてきましたが、昨年10月の高松市との交渉で会計年度任用職員の指導員の給与を4月に遡って支給することを認めさせ、11月の交渉では委託会社と労働組合で確認した内容を共有すること、労働基準に合わない調整時間の違法性を認めさせ、残業代は賃金で支給することも確認しました。12月には委託後も、勤



(保育の現場から) 改正子ども子育て支援法は児童手当や育児休業給付金の拡充、働いていなくても保育施設に子どもを預けられる、子どもは誰でも通園制度の導入などが盛り込まれています。このような策が実施され



ることは前進だと思えますが、問題もあります。これにかかる財源は実質負担ゼロと言いつながら、2026年度からは支援金制度で公的医療保険を通じて徴収されるようになりそうです。徴収されること、目的外使用になることは問題だと思えます。

今年度、職員配置基準ができてから初めて76年ぶりに4・5歳児の保育士の配置基準を「子ども8人に1人」から「25人に1人」配置に改善されました。しかし、基準の見直しで増える運営費では資格を持った保育士を一人雇用することは到底できません。

保育の仕事は子どものお世話や教育をすることだけでなくたくさんあります。そのため、給料が安い保育士のなり手は減っていて、長く努める人も少ない現状です。求人を出しても人が来てくれないような労働環境です。現状のギリギリの人事配置の中で、このような制度をさらに実施することは業務負担がますます増え、保育士の心身の負担が増えることはもちろん、子どもの安全や命が守れるか不安です。

国は本気で少子化対策を行うつもりなら国の責任で保育に十分な補助を行い、人材確保ができる給与や労働条件、保育環境を十分に整えられるようにして欲しいです。